

## 平成 24 年 第 4 回定例道議会報告

北海道議会議員 北 口 雄 幸

- 【所属会派】** 民主党・道民連合議員会
- 【会派役員】** 政策審議会副会長
- 【所属委員会】** 農政委員会副委員長、道州制・地方分権改革等推進調査特別委員会筆頭理事
- 【党活動】** 民主党北海道農林水産局長、第 6 区総支部副代表、土別ブロック支部代表
- 【日 程】** 平成 24 年 9 月 11 日（火）～10 月 5 日（金）25 日間

**【一般質問】** 第 4 回定例道議会は、11 月 27 日（火）に開会、平成 24 年度道補正予算、地域主権一括法に対応し公共施設の設備基準や社会福祉施設・福祉サービス等の設備・運営基準等を定める条例 25 件、「道民の医療を守るための充実・強化を求める意見書」などを可決し、12 月 25 日（火）に閉会した。

わが会派からは、代表格質問に池本柳次議員（十勝管内）が立ち、原発・エネルギー政策、行財政運営などについて質疑を行った。

また、一般質問には沖田清志議員（苫小牧市）、広田まゆみ議員（札幌市白石区）、福原賢孝議員（檜山管内）の 3 議員が登壇し、当面する道政課題、地域課題について道の取り組みを質した。

**【主な審議経過】** 今定例会は、衆議院総選挙が、12 月 4 日告示、16 日投開票の日程で実施されたことから、一般質問終了後に休会し、総選挙終了後に予算特別委員会での質疑を開始する変則的な会期設定で行われた。

師走選挙となり、しかも政権交代の結果となったため、国の予算編成作業は事実上、年明けから行われる状況となり、予算委員会では、地方財政を含む財政運営、エネルギー政策、経済対策などについて、道の見通しを質したが、いずれも国の動向を見極めたいとする主体性に欠ける答弁ばかりが並んだ。

政権を担うことになる自民党、公明党は、選挙戦を通じて国債大增発も辞さない大規模公共事業による景気対策を主張し、大型補正予算の編成も言われている。しかし、小泉政権以降続いた公共事業抑制によって、地域では役所にも業者にも大幅な事業増加を受け入れる能力がなくなっているとの指摘がある。また、自治体財政が、事業増加に対応していけば、借金増に陥ることが懸念され、知事も答弁で「社会資本整備拡大に伴う地方負担には、財政措置拡充を国に要望する」との姿勢を示した。

そもそも、自治体財政については、小泉政権、引き続き安倍政権時代に、経済財政諮問会議路線で、地方交付税を大幅にカットするなどの対応がとられ、民主党政権下での復元で、自治体財政は一息ついた経過がある。この地方交付税についても、財務省には、自治体の人件費の国家公務員並み引き下げなどを求めて大幅削減を主張する動きもあり、年明けに本格化する予算編成の中で、地方にとっては要警戒となりそうだ。

また、原発政策、エネルギー政策については、原発の安全性、大間原発等の新設原発の取り扱い、代替エネルギーや送電網整備対応等への新政権の対応は明確になっていない。従来の自民政権の経済性重視で安全性軽視の姿勢に復帰することのないよう今後も議論を重ねる必要がある。

補正予算案は、開会初日と会期最終日の 2 回に分けて提案された。冒頭提案分は、国の経済危機対応・地域活性化予備費分の公共事業・農業基盤整備費 288 億円、災害復旧事業費 18 億円、端境期対策の投資単独事業費（ゼロ道債）67 億円（うち 24 年

度分 24 億円、債務負担行為 43 億円) など一般会計で 349 億円。最終日提案分は、国の予備費対応追加に伴うもので、公共事業費 38 億円、緊急雇用創出等の基金の増枠 109 億円など一般会計で 147 億円。この補正によって、平成 24 年度の道予算の規模は一般会計 2 兆 8,043 億円、特別会計 5,357 億円の合計 3 兆 3,400 億円となった。

### 【平成 24 年度補正予算】

単位：千円

	一般会計	特別会計	合計
前回までの計上額	2,754,740,404	535,740,068	3,290,480,472
4 定 計 上 額	49,584,305	0	49,584,305
通常補正額	34,917,216	0	34,917,216
追加補正額	14,667,089	0	14,667,089
合 計	2,804,324,709	535,740,068	3,340,064,777

### 【採択された決議・意見書】（◎は政審発議、○は委員会発議）

- ◎道民の医療を守るための充実・強化を求める意見書
- ◎私立専修学校に関する新学校種の創出と財源措置に関する意見書
- 国内製油所の分散配置によるエネルギー安定供給体制の確立に関する意見書
- 義務教育等学習機会の充実に関する法整備を求める意見書

### 【当面する課題と会派の対応】

#### （1）会派構成について

12 月 16 日に投開票された登別市選挙区での道議補欠選挙で当選した赤根広介議員が会派に加入した。これで、会派の所属議員数は 38 人になった。赤根議員は経済常任委員会及び道州制・地方分権改革等推進調査特別委員会に所属することが決まった。

### 【広報等】

\*道政報告「ゆうこう便り」の発行 2013 年 1 月（冬号）33 号

\*ホームページの開設 2007 年 7 月開設、ブログは毎日更新中 <http://y-kitaguchi.net/>